

令和7年度

長浜市民剣道大会



生涯剣道

日時	令和7年11月3日(月)
	受付 午前8時30分
	開会 午前9時00分
会場	高月運動広場体育館
主催	長浜市
後援	中日新聞社
主管	長浜市剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて 礼節に尊び
信義を重んじ誠を尽くして
常に自己の修養に努め 以て国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである

『それは剣なり。心正しからざれば、剣また正しからず。
須く剣を学ばんと欲する者は、まず心より学ぶべし。』

島田虎之助

大会次第

開会式 9:00～

開会宣言	大会実行委員長	田川 剛
国歌斉唱		
大会会長挨拶	長浜市剣道連盟会長	松本 俊彦
試合錬成上の注意	審判長	中村 新一
選手宣誓	長浜剣道クラブ	大音 和己

試合錬成

午前の部 9:15～11:30
午後の部 13:00～16:30

閉会式

成績発表

表彰	長浜市剣道連盟会長	松本 俊彦
閉会宣言	大会実行委員長	田川 剛

大会役員

大会会長	松本俊彦
大会副会長	田淵泰久
審判長	中村新一
大会実行委員長	田川剛
受付	川上香織・瀧川よしゑ
本部記録	瀧川よしゑ
放送	岩根由美子
救護	下司みゆき
記録写真	野川正人
筆耕	沢田浩臣

審判主任・審判員

敬称略

	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
審判主任	鐘居忠芳	福本裕幸	齊藤以一	藤田圭彦
審判	齊藤かおり 山崎清和 浅見一夫 前田光範 田中宏明 野川透矢 西尾蓮	保積和貴 羽田野清介 田中絃太郎 川添和彦 浅見優 山田朝輝 川合晴々	野川正人 西門伸次 辻村浩 宮部稜也 浅野智之 吉村圭翔 吉川響	丸田耕嗣 北方洋介 西尾彰彦 松田大 石井秀樹 稗田海介
コート主任	青木絢太郎	伊吹美咲	阪本凜	横井利紀
補助役員	中嶋大和 市江隼 大井美琴 千田拓冬 田辺子龍 田中大和	寺田悠希 高橋柚羽 長谷川晴香 中島惣介 阿閉歩実	藤田颯介 前田未来瑠 永井至宗 石田優斗 藤田ひかる 田代愛依	土田朋徳 八田伊織 堂守拳斗 藤森暖空 山崎結希乃

☆審判会議は8:30より、2階ミーティングルームで行います。

☆審判の服装につきましては、審判規則に準ずる服装、また剣道着・袴をお願いします。

☆補助役員につきましては、8:50より2階、柔道場に集まってください。

1. 試合方法

(個人戦)

- ・ 中学生は男女別・小学生は男女混合
- ・ 3位決定戦を行わない

(団体戦)

- ・ 中学生・小学生ともに男女混合のトーナメント
- ・ 3位決定戦を行わない(中学生、小学生は優勝・準優勝・3位2チームまで表彰)
- ・ 東西対抗は勝ち抜き戦とする

2. 試合規則

(1) 総則

全剣連試合規則、並びに審判規則に準ずる

(2) 試合時間

小学生、高校生一般の部は2分、中学生3分間とする。

個人戦は、中学生は2分刻みの延長を行い、勝敗を決する。

小学生は1分間の延長戦を一度おこない、勝敗がつかない時は、判定で勝敗を決める。

(ただし、準決勝・決勝は勝敗が決するまで1分刻みの延長戦をおこなう。)

団体戦は、延長をおこなわない。

大将戦終了時に、勝者数、得本数が同数の場合、代表者戦で勝敗を決する。

代表者戦は、2分間の1本勝負でおこなう。

(中学生の延長は無制限、小学生の延長は1分間刻みで勝敗が決するまでおこなう。)

3. 試合順序

	第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
個人戦	小学3年生以下 (30分) 小学4年生 (30分) 小学5年生 (20分)	中学生男子 (60分)	基本判定試合 (24分) 小学6年生 (40分)	中学生女子 (60分)
団体戦	小学生団体 (40分) 高校・一般 東西対抗	中学生団体 (60分)	小学生団体 (40分)	中学生団体 (60分)

☆ 試合の進行状況により、試合場の変更もありますのでご注意ください。

☆ 選手の整列、タスキの着装は各団でお願いします。(正面に向かって右側が赤、左側が白)

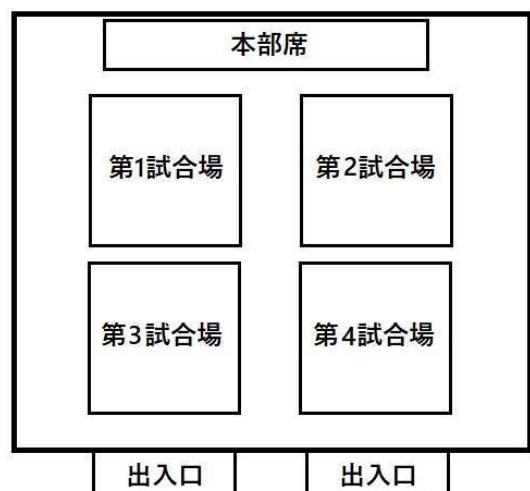
☆ 大会当日発熱(37.5度以上)、風邪の様な症状がある場合は出場できません。

☆ 面マスクまたはマウスガードを着用してください。

試合会場

4. 注意事項

- ・ 会場内での飲食・喫煙は禁止します。
- ・ 監督・保護者の方は、会場内の事故・怪我のないよう十分にご注意をお願いします。
- ・ 貴重品は、各自で保管ください。
- ・ ゴミは各自ご家庭に持ち帰りください。



令和7年度 長浜市民剣道大会要項

- 1 趣旨 剣道を志す剣士の心身の錬磨・交流を図り、剣道の普及振興ならびに将来を担う青少年の健全育成に寄与することと、指導者および一般剣士の交流を図ることを目的とする。
- 2 主催 長浜市
- 3 後援 中日新聞社
- 4 主管 長浜市剣道連盟
- 5 期日 令和7年11月3日（月・祝日）
午前9時00分開会 ※ 受付 8時30分から8時45分
開場 8時00分
- 6 会場 高月運動広場体育館 アリーナ
- 7 参加資格 長浜市剣道連盟会員と市内の少年剣道の団体及び中学校・高等学校の剣道部に所属しているか、市内在住で市外の道場または剣道部に所属していること。
また、健康上支障がないと認められる者。

8 試合種目

①基本判定試合

出場対象…小学3年生以下の剣道を始めて一年程度の者、または試合経験の少ない人で、なお且つ本大会の基本判定試合に出場経験のない者

※出場については基本的に指導者の裁量とする。

基本判定試合の出場者は、ほかの個人部門・団体部門には出場不可とする。

試合方法…男女混合トーナメント ※参加人数少数の場合はリーグ戦

試合内容…切り返し・正面打ち（試合者は面・甲手の着用不要）

※基本判定試合内容の詳細

- ・切り返し…正面打ち→前進左右面4本、後退左右面5本（竹刀で受ける）
→正面打ち（2往復）→残心を示した後元の位置に戻る
- ・正面打ち…正面打ち4回（2往復）

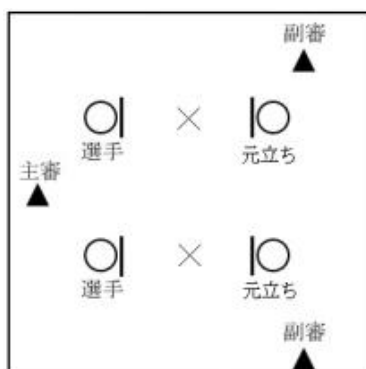
審判要領

- ・主審1名、副審2名で判定を行う。
- ・あらかじめ決められた元立ちに対し、赤白二人が同時に行う。
- ・試合場で9歩の間合いで立礼後、開始位置にて蹲踞し、主審の「始め」の合図で切り返しから行う。
- ・正面打ち終了後、開始位置に戻らせ、主審の「判定」の合図で勝旗（赤・白）を挙げる。主審は、勝旗を調べ、「何対何で勝負あり」と宣告する。その後、蹲踞し竹刀を納め9歩の間合いに戻らせ立礼し退場させる。

判定基準

- ・正しい礼法ができているか。
- ・充実した氣勢が大きく、正しく、気剣体の一致で打っているか。
- ・竹刀の握り方は正しいか。
- ・足の運びは正しいか。
- ・左右面を打つ角度は45度になっているか。
- ・正面打ちのとき一足一刀の間合いから打っているか。
- ・竹刀の打突部で打突部位を正しく打っているか。
- ・間合い取りは適切か。
- ・残心がなされているか。

【基本判定試合の隊形】



②個人戦 ※トーナメント戦（参加人数によりリーグ戦または部門の統廃合あり）

- ・小学3年生以下の部
- ・小学4年生の部
- ・小学5年生の部
- ・小学6年生の部
- ・中学生男子の部
- ・中学生女子の部

※ 小学生は男女混合

※ 4, 5年生の部は、第21回（R8年度）の
全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会選考を兼ねる

③団体戦 ※トーナメント戦（参加チーム数によりリーグ戦に変更）

- ・小学生の部（男女混合五人制）各団2チームまで
- ・中学生の部（男女混合五人制）各中学校2チームまで
- ・高校生・一般の部（勝ち抜き東西対抗 勝ち抜き方式）

※ (1)小学生の部は3年生以上を基本とするが、小学2年生以下の参加については監督の責任において出場可とする。

(2)小中学生においては、どちらかの団体において1チームの人数に満たない場合のみ他団体との混合チームでの出場を許可する。

(3)4人でのチーム編成の場合は次鋒を欠員とし、3人でのチーム編成の場合は次鋒と副将を欠員とする。

(4)高校生・一般の部の組み合わせについては、年齢・性別・段位等を考慮する。

9 試合及び審判規則 全日本剣道連盟試合規則・審判規則とその細則に準じて行う。

10 表彰

各部とも優勝・準優勝・三位に賞状と賞品を授与する。

ただし東西対抗を除く。

11 参加方法

①申し込み方法

所定の用紙（長浜市剣道連盟のホームページに掲載）に記入の上、長浜市剣道連盟[公式サイト](#)の申し込みフォームに添付すること。

②申込締切日 **10月13日(月) 17時まで**

※以降の受付・変更は不可とします。

③参加費 **無料**

12 組合せ 長浜市剣道連盟 大会運営委員会において組合せを行う。

13 審判会議 8時45分より2階ミーティングルームにて行う。

14 審判員の派遣について

- ・各団体より審判員を派遣すること。
- ・審判員の服装は剣道着でも可とする。

15 準備物

・目印を各団体で準備すること。

・団体戦オーダー用紙(下記参照)を作成し、当日受け付けに提出すること。

(複数出場の場合はチーム名の後にA、Bで区別し、必ず申し込み用紙と同様にすること。)

チーム名 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

縦27cm、横78cm

(模造紙4分の1、またはホームページのA3フォーマット貼り合わせ)

16 その他

① 大会中の負傷は主催者側にて応急処置のみを行う。その後の処置については、主催者側は責任を負わない。

② 審判員と補助役員の**昼食**は大会運営側で準備する。ただし、中学生の補助役員は除く。

③保護者及び監督は、試合会場内外における参加者の行動に充分注意すること。

④申込書に記載された個人情報（氏名・学年・所属）は公表媒体（新聞・ホームページ等）に公表することがある。公表を拒否する場合は事前に申し出ること。

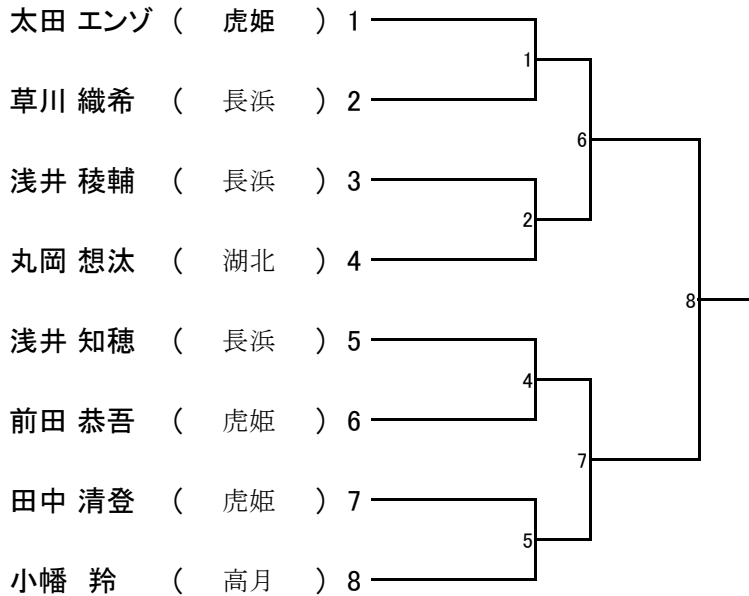
⑤問い合わせ先

・長浜市剣道連盟大会運営委員 田川 剛 (Tel.090-4762-2089)

・長浜市剣道連盟公式サイト

<http://長浜剣道.com/>

基本判定試合



1. 基本判定試合内容の詳細

- ・ 繰り返し…正面打ち→前進左右面4本、後退左右面5本（竹刀で受ける）
→正面打ち（**2往復**）→**残心を示した後元の位置に戻る**
- ・ 正面打ち…正面打ち**4回**（**2往復**）

2. 基本判定試合判定基準

(1) 総合評価の着眼点

ただ速く動作ができていだけではなく、正しく、リズムや拍子をもって動作(技)をしているか見る。

1. 剣道具（胴・垂）・剣道着・袴の着装ができていのか。
2. 正しい蹲踞ができていのか。
3. 竹刀の持ち方は正しいか。（左・右 打ち手になっているか。）
4. 大きな発声ができていのか。
5. しっかりと手首(刃筋)を返し、伸び伸びと大きな切り返しができるか。
6. 左右面を打つときに左こぶしが大きく左右に動いていないか。

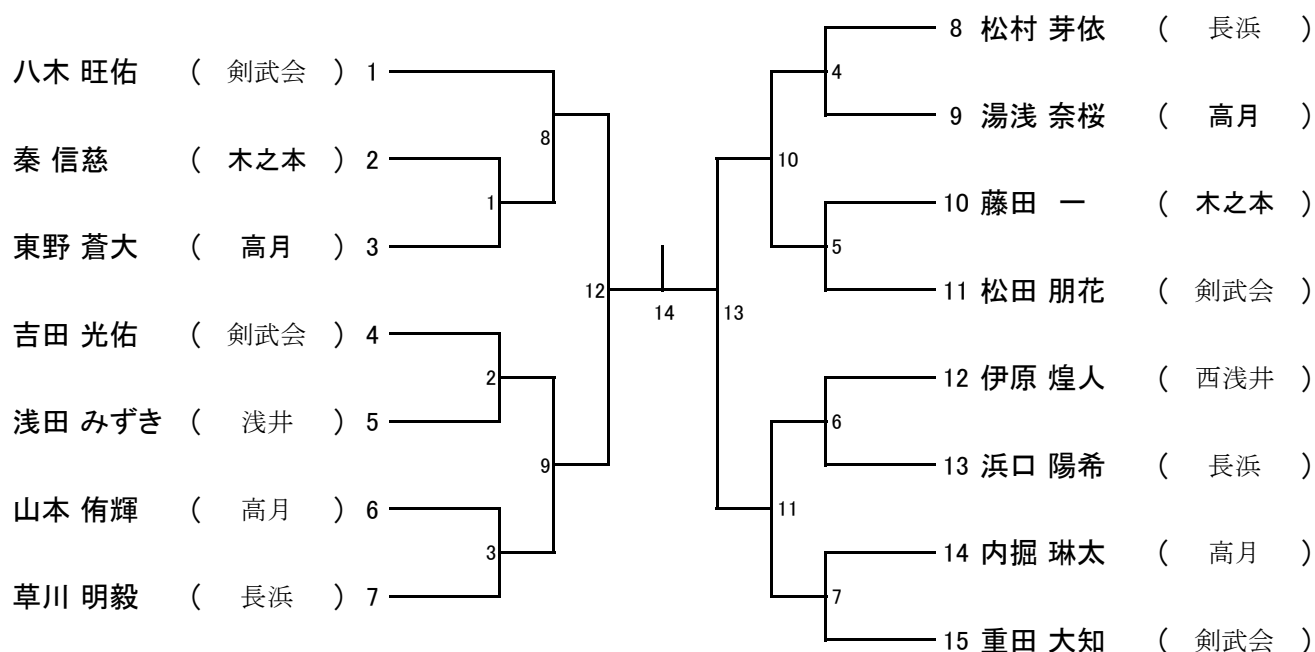
(2) 切り返しの留意点

1. 竹刀の振り方は正しいか。
2. 足の運びは正しいか。（退き足が歩み足にならないか）
3. 左右面を打つ角度が約45度になっているか。
4. 「正面打ち」のとき一足一刀の間合からうっているか。
5. 竹刀の打突部で打突部位を正しく打っているか。
6. 「左右面打ち」のとき左こぶしが正中線を通り相手の見える所まであがっているか。
7. 「正面打ち」のとき両腕が自然に伸び左こぶしが中心(みぞおち)におさまっているか。
8. 最後まで気合と体勢が崩れないか。

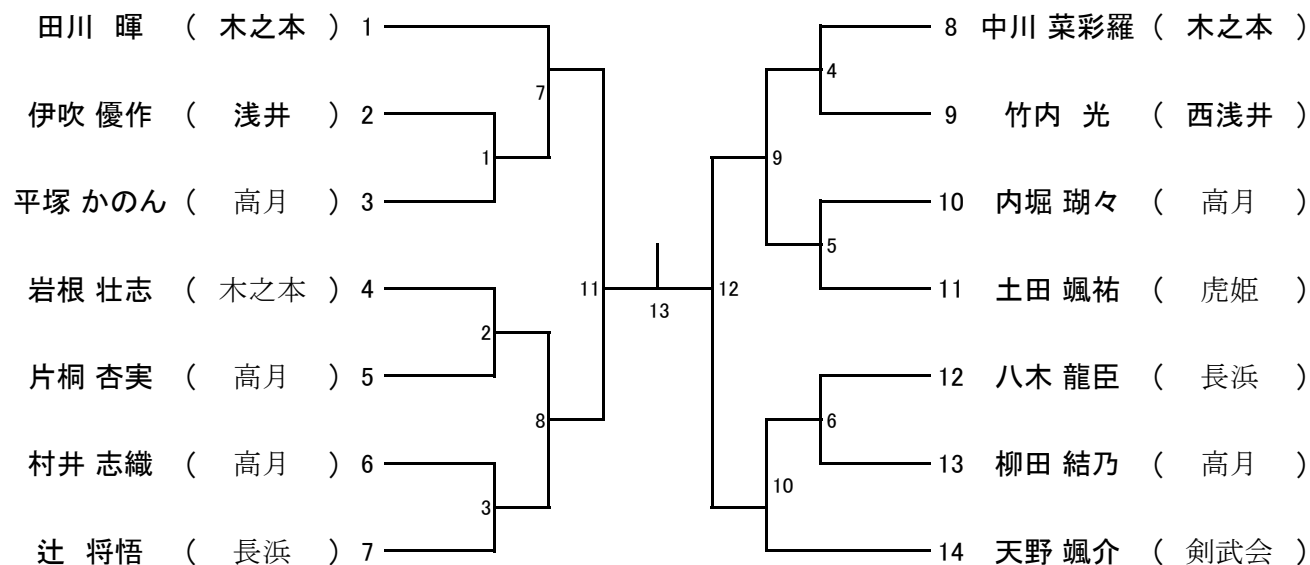
(3) 面打ちの留意点

1. 足さばきは正しいか。
2. 技に適した足さばきができていのか。
3. 間合の取り方が適切か。
4. 技が正確(気剣体一致)であるか。
5. 最後まで気合と体勢が崩れないか。
6. 残心がなされているか。

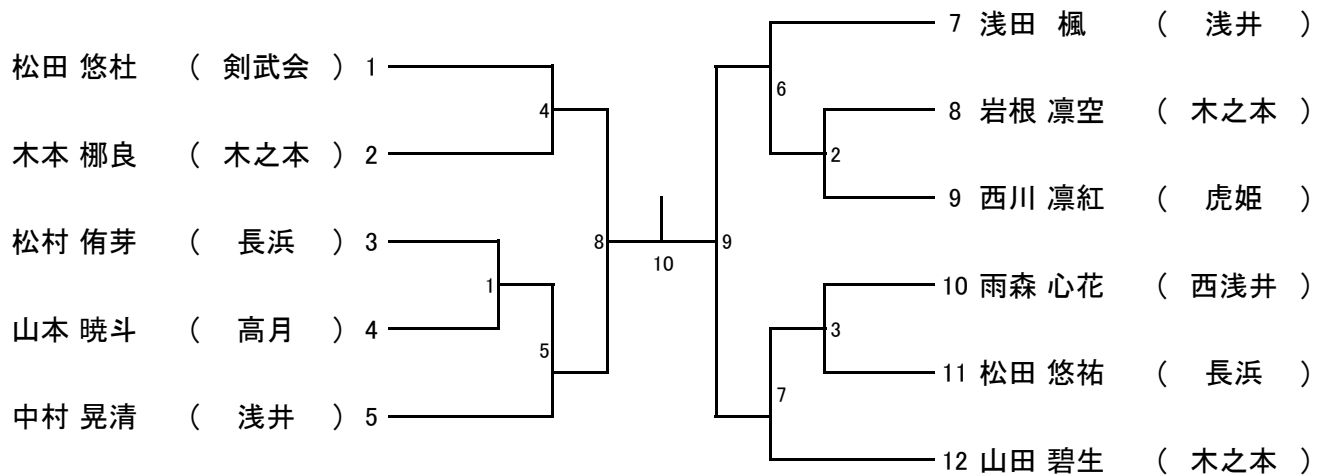
小学3年生以下



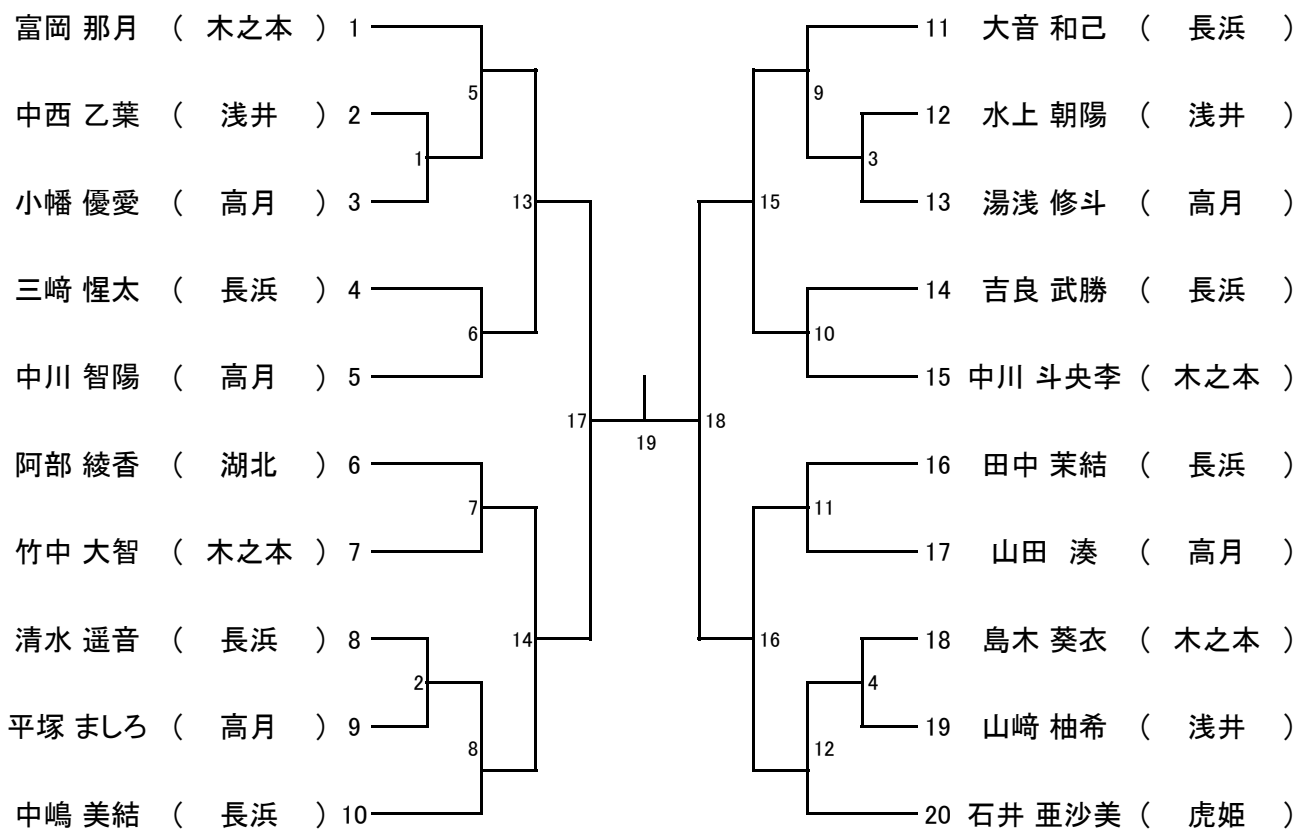
小学4年生



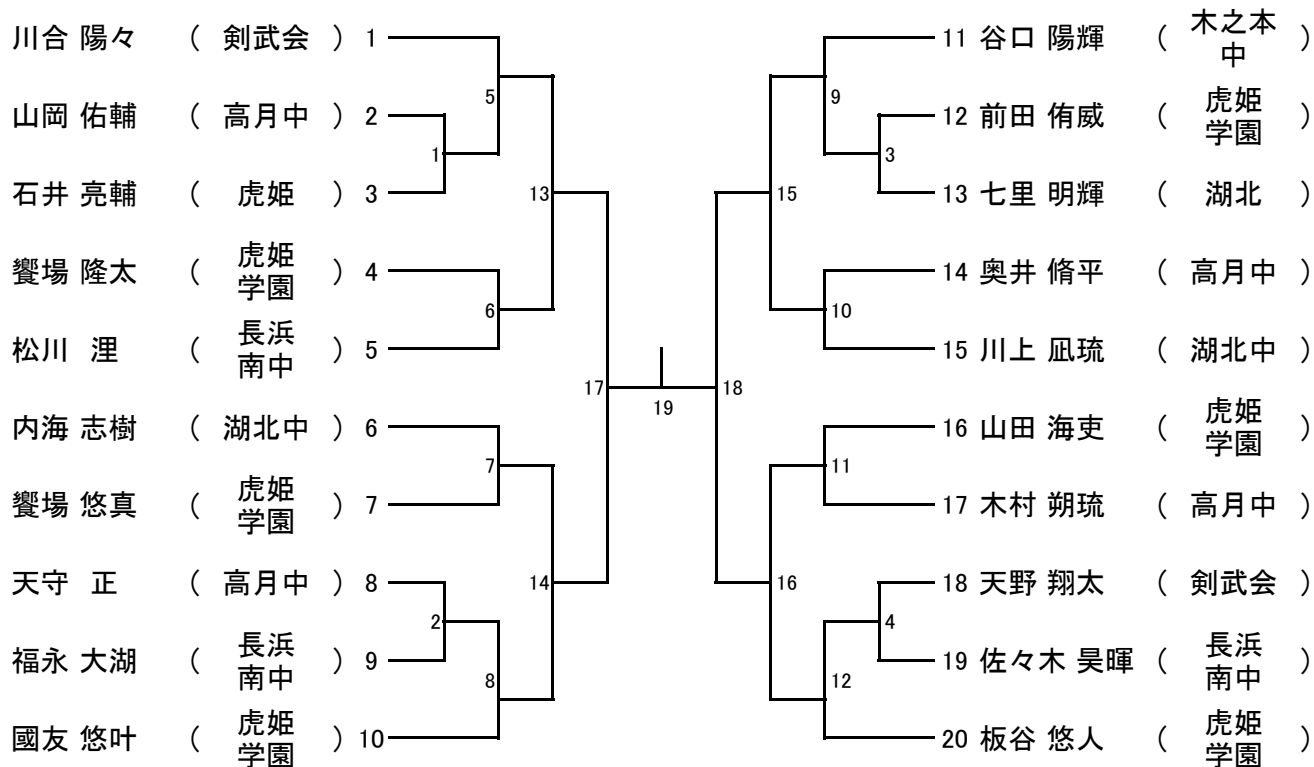
小学5年生



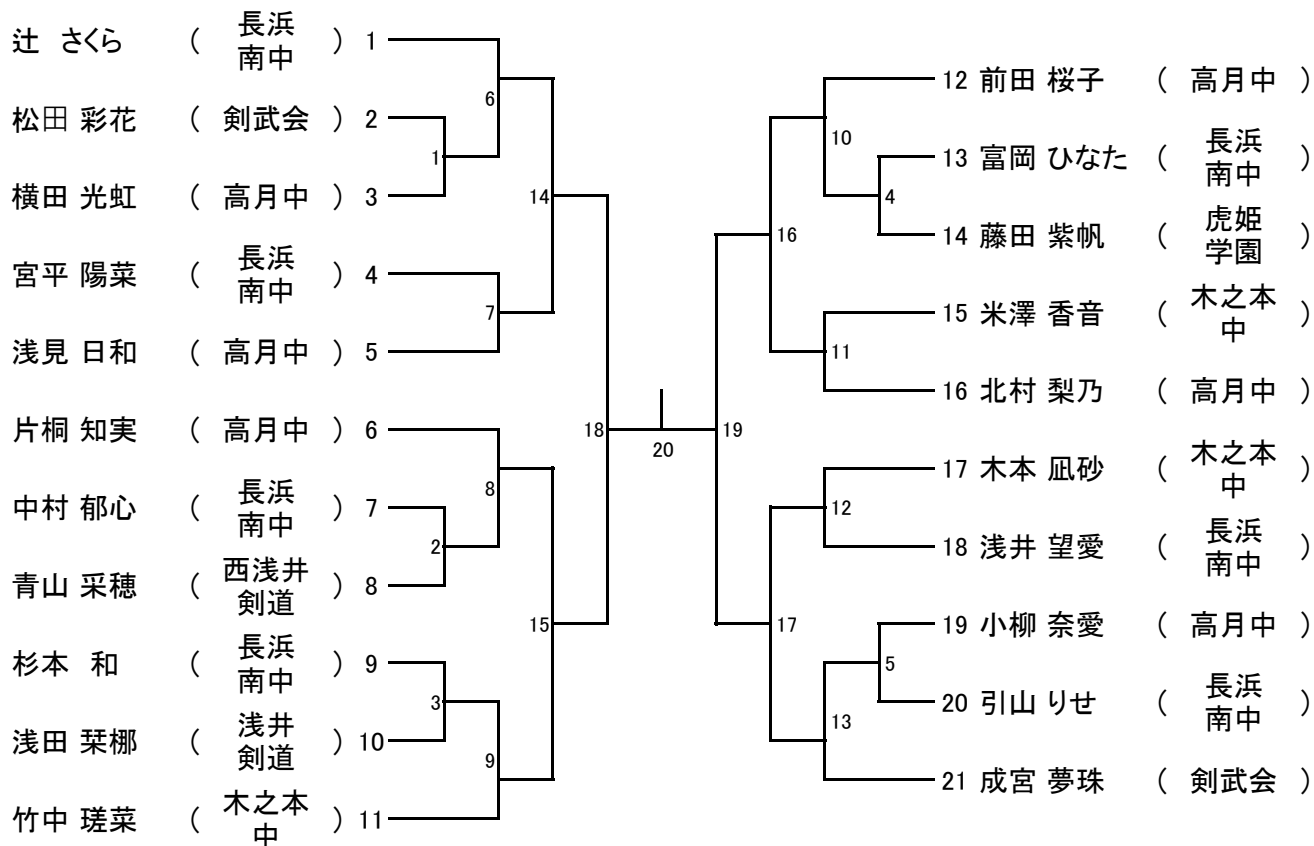
小学6年生



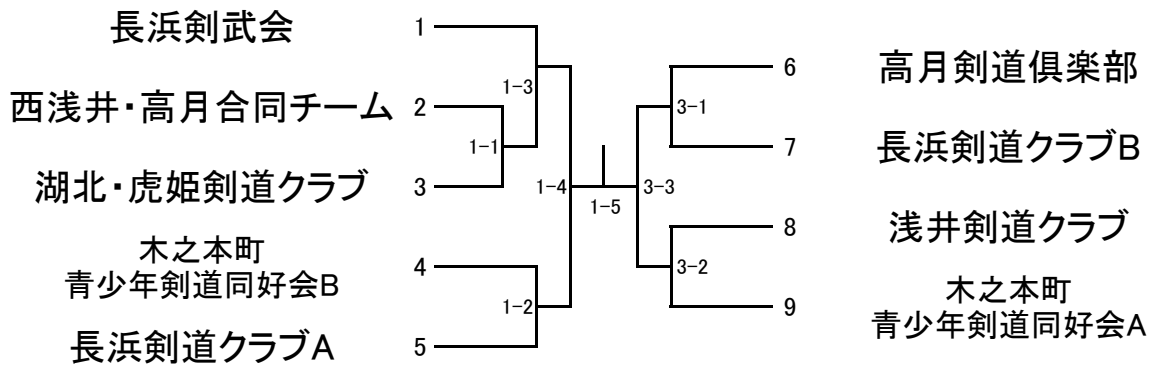
中学生男子



中学生女子



小学生団体の部



チーム名	監督	先鋒	学年	次鋒	学年	中堅	学年	副将	学年	大将	学年
高月剣道倶楽部	森 清隆	山田 湊	6	山本 暁斗	4	平塚 ましろ	6	中川 智陽	6	湯浅 修斗	6
長浜剣道クラブA	羽田野 清介	清水 遥音	6	松村 侑芽	5	田中 茉結	6	大音 和己	6	中嶋 美結	6
長浜剣道クラブB	川添 和彦	八木 龍臣	4	松村 芽依	3	松田 悠佑	5	三崎 惺太	6	吉良 武勝	6
西浅井・高月 合同チーム	田中 宏明	湯浅 奈桜	3	東野 蒼大	3	竹内 光	4	内堀 瑚々	4	雨森 心花	5
木之本町 青少年剣道同好会A	丸田 耕嗣	中川斗央李	6	竹中 大智	6	島木 葵衣	6	山田 碧生	5	富岡 那月	6
木之本町 青少年剣道同好会B	丸田 耕嗣	田川 暉	4	岩根 壮志	4	中川菜彩羅	4	岩根 凜空	5	木本 椰良	5
浅井剣道クラブ	多賀 敏嗣	浅田 楓	5	水上 朝陽	6	中村 晃清	5	中西 乙葉	6	山崎 柚希	6
長浜剣武会	浅見 一夫	八木 旺佑	3	重田 大知	3	松田 朋花	2	天野 颯介	4	松田 悠杜	5
湖北・虎姫剣道クラブ	石井 秀樹	土田 颯祐	4			西川 凜紅	5	石井 亜沙美	6	阿部 綾香	6

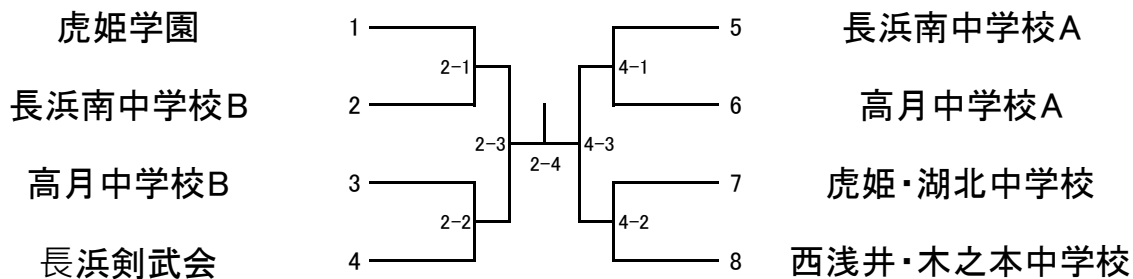


大会の経過については、オープンチャットで随時報告します。

左記のQRコードよりアクセスしてください。
(参加コード : 0000)

[長浜市剣道連盟 大会用オープンチャット](#)

中学生団体の部



チーム名	監督	先鋒	年段	次鋒	年段	中堅	年段	副将	年段	大将	年段
虎姫学園	西田 祐子	國友 悠叶	1初	藤田 紫帆	2初	前田 侑威	3初	板谷 悠人	3二	饗場 悠真	3二
長浜南中学校A	岩根 由美子	辻 さくら	2二	富岡 ひなた	2	佐々木 昊暉	3二	松川 湊	3初	福永 大湖	2初
長浜南中学校B	岩根 由美子	浅井 望愛	1	杉本 和	1	中村 郁心	1	宮平 陽菜	1	引山 りせ	1
高月中学校A	齊藤 かおり	片桐 知実	1初	北村 梨乃	2一	浅見 日和	3二	小柳 奈愛	2初	前田 桜子	2二
高月中学校B	宮内 佑輔	木村 朔琉	22級	山岡 佑輔	1	奥居 脩平	1	横田 光虹	3初	天守 正	2一
西浅井・木之本中学校	川上 香織	竹中 瑛菜	2初	青山 采穂	2初	木本 凧砂	2初	米澤 香音	2初	谷口 陽輝	2初
虎姫・湖北中学校	石井 秀樹	石井 亮輔	2初	七里 明輝	2初	川上 凧琉	3二	饗場 隆太	3初	内海 志樹	3二
長浜剣武会	浅見 一夫	川合 陽々	2二			松田 彩花	1	成宮 夢珠	3二	天野 翔太	3二



大会の経過については、オープンチャットで随時報告します。

左記のQRコードよりアクセスしてください。
(参加コード : 0000)

[長浜市剣道連盟 大会用オープンチャット](#)

高校生・一般 東西対抗

※試合時間2分の勝ち抜き戦

東軍			
監督 福本 裕幸			
順位	所属	称段	氏名
先鋒	虎姫高校		高橋 柚羽
次鋒	長浜北高校		長谷川 晴香
二十五将	虎姫高校		中島 惣介
二十四将	虎姫高校		市江 隼
二十三将	虎姫高校		中嶋 大和
二十二将	虎姫高校	初	阿閉 歩実
二十一将	長浜北星高校	二	大井 美琴
二十将	剣武会	二	山崎 結希乃
十九将	虎姫高校	初	堂守 拳斗
十八将	長浜北高校	初	青木 絢大郎
十七将	虎姫高校	1級	田辺 子龍
十六将	長浜北高校	二	藤森 暖空
十五将	敦賀気比高校	三	西尾 蓮
十四将	伊香高校	三	川合 晴々
中堅	長浜バイオ大学		加藤 考太
十三将	長浜バイオ大学	二	河部 蒼大
十二将	長浜バイオ大学	三	稗田 海介
十一将	高月剣道倶楽部	三	吉村 圭翔
十将	伊香支部	三	山田 朝輝
九将	伊香支部	四	宮部 稜也
八将	長浜支部	三	浅野 智之
七将	剣武会	五	浅見 一夫
六将	木之本少年団	錬六	丸田 耕嗣
五将	伊香支部	三	松田 大
四将	高月剣道倶楽部	七	保積 和貴
三将	虎姫少年団	三	石井 秀樹
副将	伊香支部	四	西尾 彰彦
大将	木之本少年団	教七	福本 裕幸

西軍		
監督 齊藤 以一		
所属	称段	氏名
虎姫高校	1級	田代 愛依
虎姫高校	1級	前田 未来瑠
長浜北高校		永井 至宗
長浜北高校	初	石田 優斗
虎姫高校	二	伊吹 美咲
虎姫高校	初	寺田 悠希
長浜北星高校	二	阪本 凜
虎姫高校	1級	八田 伊織
長浜北星高校	二	藤田 颯介
虎姫高校	初	藤田 ひかる
長浜北高校	二	田中 大和
伊香高校	二	千田 拓冬
剣武会	三	吉川 響
虎姫少年団	三	山崎 雪那
長浜バイオ大学	初	山本 義久
長浜バイオ大学	二	土田 朋徳
長浜バイオ大学	二	横井 利紀
伊香支部	三	野川 透矢
剣武会	三	成宮 夢姫
剣武会	五	田中 絃太郎
長浜南中	五	岩根 由美子
高月剣道倶楽部	三	浅見 優
虎姫少年団	五	前田 光範
木之本少年団	錬六	田川 剛
木之本少年団	六	川上 香織
長浜支部	四	辻村 浩
伊香支部	錬七	野川 正人
警察	教七	齊藤 以一

令和6年度長浜市民剣道大会結果表

(令和7年11月3日 於:高月体育館)

部門	順位	氏名	所属	順位	氏名	所属
基本判定試合	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
小学3年生以下の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
小学4年生の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
小学5年生の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
小学6年生の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
中学生男子の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		
中学生女子の部	第一位			第二位		
	第三位			第三位		

小学生団体の部	第一位		第二位	
	第三位		第三位	
中学生団体の部	第一位		第二位	
	第三位		第三位	
東西対抗	第一位		第二位	



大会の経過については、オープンチャットで随時報告します。

左記のQRコードよりアクセスしてください。
(参加コード : 0000)

[長浜市剣道連盟 大会用オープンチャット](#)



駐車場について

ご来場の際は、下記の駐車場をご利用ください。
※給食センター・社協(ほのぼのホール)は利用できません。

